

2024年度（令和6年度）事業報告

（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

全日本板金工業組合連合会

I. 概況

ロシアによるウクライナ侵攻や中東の紛争、そして米国・トランプ大統領の返り咲きに伴い世界情勢は混沌の様相を深めていると言っても過言ではない。我が国においても諸物価の継続的な高や主食であるコメ価格の高 など不安定な状況が続いている。

経済指標は建設投資73兆円強（前年度比2.7%増）、新設住宅着工戸数79万戸強（同3.4%減）、民間非住宅着工床面積4,500万㎡（同2.3%増）、鉄鋼粗鋼生産8,401万ト（同3.4%減）と予測される。

これらの社会情勢を踏まえながら全板連グループは各都道府県板金工業組合、日板協賛助会員、関連省庁、企業、機関ほかと連携を図りながら事業を遂行した。

特に賦金/会については様々な意見を基に議を重ね19年ぶりの改定を実施。また業界のシンボルとなる板金会館の改修工事にも着手した。厳しい経済状況の中、大きな理解を示していただいたことに感謝申し上げたい。第74回全国建築板金業者岡山大会は46板金工業組合のすべてで開催実現を果たす節目の大会となった。また、責任施工保証制度保証書の整備も法律家の意見を踏まえながら議論を重ね、一つの結を導いた。

長年の案である組合員減少対策は組織運営に係る重要かつ喫緊の題と位置づけたが、減少傾向が続く結果となった。引き続き組織一丸となった実効性のある対策が重要となる。

<2024年度 重要方針>

★「全板連グループのSDGs」～建築板金業界としての積極的な取り組み

1. 非組合員の加入推進
2. 基幹技能者制度の有効活用（建設キャリアアップシステムとの連携）
3. 次世代後継者の継続的な育成強化
4. 福利厚生事業の加入者増強の促進
5. 技能・技術の継承の推進
6. 新責任施工保証制度（仮称）への取組

II. 実施事業

1. 総合事業

(1) 第74回全国建築板金業者岡山大会

期日	2024年5月30日（木）
会場	ジップアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド 体育館）
総参加者数	2,300名
前夜祭	ホテルグランヴィア岡山

主な来賓（順不同・敬称略、前夜祭含む）

	機関名	氏名
本部 来賓	国会議員	石破 茂（衆議院議員／議連会長） 逢沢一郎（衆議院議員／議連議員）
	国土交通省	蒔苗浩司（大臣官房審議官）
	経済産業省	潮崎雄治（製造産業局生活製品課住宅産業室長）
	メーカー、商社、関連団体 ほか	
地元 来賓	岡山県知事 岡山市長	伊原木隆太 大森雅夫
	関連団体 ほか	

<参考> 今後の開催予定地

第75回大会	2025年（令和7年）	島根県
第76回大会	2026年（令和8年）	北海道
第77回大会	2027年（令和9年）	福岡県
第78回大会	2028年（令和10年）	岩手県
第79回大会	2029年（令和11年）	徳島県
第80回大会	2030年（令和12年）	福井県

2. 専門事業

(1) 組織関連事業（担当 沖野東陽副理事長、川島隆司副理事長：責任施工保証制度

再検証サポート）

①中長期的な賦課金・会費のあり方

→安定的な事業運営費の確保などを主な目的とした賦課金・会費改定を行った。
継続して経費の節減や収益事業の強化等を図り、常に組合員の負担抑制を念頭に置いた事業展開を図る。

②新規組合員の加入促進

→業界の将来や賦課金・会費の抑制などのため実効性のある具体的な方策を策定するための議論を行い、従前の組合員数の減少率を抑制するための各ブロックあたり10名/年増の目標設定に加え、実績を残した組合に対する表彰制度を新設して組合員増強の重要性の周知とそのための機運醸成を図った。

③新責任施工保証制度への取組

→法律家の見解を基に各組合からの意見などを反映した新保証書への切替を実施するとともに、あらためて施工責任の明確化や各組合における所定講習の実施（施工資格、検査資格）の周知徹底を図った。

関連保険制度（損害、賠償）の実績はあいおいニッセイ同和損害保険会社「賠償責任保険」607件（前年度比98.2%）、AIG損害保険株式会社「第三者賠償責任保険」103件（同91.9%）、全国中小企業団体中央会「ビジネス総合保険」4件（同200%）、建専連専門工事業総合保証制度 ※日板協名義契約（長期性能保証97件（同104%）、第三者賠償補償210件（同93.8%）、業務中障害補償17件（同85.0%））となった。

(2) 福利厚生関連事業（担当 川口清文副理事長）

①各種保険制度の加入者増強の推進

あいおいニッセイ同和損害保険「全板連福祉補償制度」は629名（前年度比94.5%）、AIG損害保険「建設業災害補償制度」47件（同92.1%）、全国中小企業団体中央会「業務災害補償制度」8件（同100%）の加入状況となった。

(3) 教育訓練関連事業（担当 野溝年成副理事長）

①登録基幹技能者の配置義務化と正当な評価支援

②技能検定への継続対応

中央技能検定委員として試験問題確認等の対応を行った。

- ・ 建築板金職種（内外装板金作業1・2級）：野溝年成（茨城）、湯浅彰一郎（千葉）
 （同 基礎級）：臼井 進（栃木）
 （ダクト板金作業1・2級）：大橋恵太郎（東京）、神田敬文（埼玉）
 （同 基礎級）：中村俊行（千葉） （敬称略）

③技能・技術の継承の推進

全国建築板金競技大会などの機会を捉え、支援を継続した。

(4) 広報関連事業（担当 浅沼勝徳副理事長）

①板金新聞の活性化と有効活用

②ウェブサイトの有効かつ発展的な活用

ウェブサイトは新着情報などの頻繁な更新、会員ページ限定の板金新聞掲載などを継続して行い、QRコードの積極活用を併用して周知を図った。

3. 顕彰事業（敬称略）

(1) 褒章

黄綬褒章	徳永正典（香川県）
------	-----------

(2) 大臣表彰

卓越した技能者（厚生労働省・現代の名工）	植木洋一（大阪府）
----------------------	-----------

(3) 全国建築板金業者大会における表彰

種別	被表彰者数
感謝状（組合理事長退任）	2名
表彰状（組合理事長6年以上在任）	1名
表彰状（組合事務局10年以上勤務）	2名
感謝状（大会開催組合）	岡山県板金工業組合
功労章（組合役員10年以上もしくは同等功績）	59名
収益事業推進組合表彰 （指定商品部門・保険関連部門）	各部門3組合 合計6組合
全国建築板金競技大会	第46回大会 両部門上位5位 10名
同上 特別表彰（両部門優勝）	1名

4. 青年部事業（担当 川島隆司副理事長）

従前同様の支援及び協力を行った。

(1) 第49回通常総会／第25回全国青年部部長会議

行事名	期日	会場
第49回通常総会	6.14（金）	東京グランドホテル
第25回 全国青年部部長会議	6.14（金）	同上

「建築板金業次世代研究会」「全国建築板金競技大会」（日板協・内閣府届出継続事業）においては運営実務を担い、両事業の中心的な役割を果たした。

Ⅲ. 庶務事項

1. 会員数及び出資口数の状況

(1) 年対比

	2023年度	2024年度	増減数
会員数（組合）	46	46	±0
出資口数（口）	460	460	±0
組合員数 （事業所）	7,110	6,939	-171

2. 役員に関する事項

(1) 役員の名・役職及び担当（理事14名、監事2名）

役職	氏名	担当	役職	氏名	担当
理事長	天野宏昌	総括	理事	小山内喜代司	
副理事長	沖野東陽	組織関連	理事	熊谷義秀	2025. 2. 26 退任
副理事長	川島隆司	青年部 組織関連（兼）	理事	堀江 岳	
副理事長	野溝年成	教育訓練関連	理事	寺澤大毅	
副理事長	岩間辰夫	環境・エネルギー 関連（日板協）	理事	折式田一豊	
副理事長	中島福則	商品開発関連 （日板協）	理事	後藤 実	
副理事長	川口清文	福利厚生関連	監事	岩室久夫	
副理事長	浅沼勝徳	広報関連	監事	田中英明	（税理士）
専務理事	小島義郎	本部			

3. 職員に関する事項

(1) 職員の状況

	前期末	当期増加	当期減少	当期末
人数	3人	0人	0人	3人

4. 会議の開催

(1) 総会（1回）

回数等	期日	会場（オンライン時は主会場）	主な内容
第58回 通常総会	5. 29(水)	ホテルグランヴィア岡山	事業報告・計画、収支決算・ 予算等の承認 ほか

(2) 理事会 (4回)

回数	期日	会場 (オンライン時は主会場)	主な内容
第1回	5.1(水)	板金会館	第58回通常総会上程議案の決定 ほか
第2回	7.18(木)	板金会館 (オンライン)	2024年度事業推進方法の確認 ほか
第3回	10.24(木)	板金会館	2024年度事業推進状況の確認 ほか
第4回	2025 3.13(木)	板金会館 (オンライン)	2025年度事業計画の概要確認

(3) 正副理事長会議 (4回) ※板金会館修繕委員会を兼務

回数	期日	会場 (オンライン時は主会場)	主な内容
第1回	4.4(木)	板金会館	第58回通常総会上程案の確認 ほか
第2回	7.4(木)	板金会館 (オンライン)	2024年度事業推進方法の確認 ほか
第3回	10.3(木)	板金会館	2024年度事業推進状況の確認 ほか
第4回	2025 2.5(水)	板金会館	2025年度事業計画の概要確認 ほか

(4) 監事会 (2回) 定款第42条に基づく監査

回数	期日	会場 (オンライン時は主会場)	主な内容
第1回	4.26(金)	板金会館	2023年度 決算監査
第2回	10.22(火)	板金会館	2024年度 中間監査

(5) 全国理事長連絡会議 (1回)

回数	期日	会場 (オンライン時は主会場)	主な内容
第1回	11.8(水)	板金会館 (オンライン)	事業経過報告と各種伝達、依頼 ほか

5. 会員組合並びにブロックとの連携

期日	行事	場所	出席者
4.11(木)	西部ブロック 総会	大阪府	天野理事長、小島専務
4.12(金)	四国ブロック 総会	高知県	同上
4.16(火)	九州ブロック 総会	大分県	同上
4.22(月)	東北ブロック 総会	山形県	同上
4.24(金)	関東甲信越ブロック 総会	茨城県	同上
4.25(水)	中部ブロック 総会	愛知県	同上
5.10(金)	北海道ブロック 総会	北海道	同上
2025 1.24(金)	東京都板 賀詞交歓会	東京都	小島専務

6. 関係諸機関・団体との連携（抜粋）

期日	行事	場所	出席者
(年度内2回)	中央職業能力開発協会(JAVADA) 中央技能検定委員会	中央職業能力 開発協会	各委員(P. 3参照)
5. 13(月)	令和6年能登半島地震 災害見舞金贈呈	新潟県	野溝副理事長
6. 18(火)	令和6年能登半島地震 災害見舞金贈呈	石川県	天野理事長、小島専務
11. 11(月)	卓越した技能者表彰式 (植木洋一氏ほか)	東京都	黒木係長、福間係員
11. 26(火)	黄綬褒章伝達式 (徳永正典氏)	東京都	黒木係長

7. 所管省ほかとの連携

(1) 経済産業省（所管）

全国建築板金業者大会への担当官出席など連携を図った。

(2) 厚生労働省

競技大会入賞者への各種表彰や後援名義申請を行った。

技能者表彰審査委員（卓越技能表彰）を野溝年成副理事長が務めた。

(3) そのほか

行政などからの要請に応じ、それぞれ専門分野へ委員を派遣した。

(P. 3「(3) 教育訓練関連事業 ②技能検定への継続対応」参照)